

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
HULFT テクニカルサポートセンター

DataSpider Studio for Web の Mapper で発生する事象について

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
DataSpider Servista において、DataSpider Studio for Web でスクリプトを開いて設定を変更すると Mapper の内容が意図せず変更されてしまう事象が発生することが判明したため、ご報告申し上げます。
DataSpider Studio for Web を使用されているお客様は、下記内容をご確認ください。

－記－

1. 対象製品及びバージョン

- － DataSpider Servista Advanced Server Package 4.4 SP1
- － DataSpider Servista Basic Server Package 4.4 SP1
- － DataSpider Servista Select 4.4 SP1

2. 影響範囲

- － DataSpider Studio for Web
※DataSpider Studio (デスクトップ版 Studio)では事象は発生しません。

3. 発生事象

DataSpider Studio for Web で発生条件に該当するスクリプトを開いて、何らかの設定を変更すると以下の事象が発生する。

- REST アダプタのコンポーネントで自動生成した後で Mapper で変更したスキーマが、自動生成した状態に戻る
- 繰り返し（データ件数）を入力元に指定した Mapper で、編集前の状態に戻ってマッピングしたリンクが消えることがある

4. 発生条件

a. REST アダプタのコンポーネントで自動生成した後で Mapper で変更したスキーマが、自動生成した状態に戻る。

下記の条件をすべて満たした場合、DataSpider Studio for Web でスクリプトに何らかの設定を変更して保存すると Mapper のスキーマが、REST アダプタのコンポーネントで自動生成された状態で保存されます。

1. REST アダプタのコンポーネントで自動生成されたスキーマ(*)を設定している。
2. 上記スキーマを Mapper で変更している。

(*)データ形式に[JSON]を指定して[JSON ファイルを指定して出力スキーマを設定]を使用した場合や、データ形式に[フォーム]、[マルチパートフォーム]、[その他のデータ形式]を指定した場合にスキーマが自動生成されます。

なお、スクリプトや Mapper を開いただけでは、事象は発生しません。Mapper を開いた際にスキーマは自動生成された状態で表示されますが、スクリプトを変更して保存していない場合は、スキーマの変更は保存されていないため、スクリプトの実行結果に影響はありません。

b. 繰り返し（データ件数）を入力元に指定した Mapper で、編集前の状態に戻ってマッピングしたリンクが消えることがある。

下記の条件をすべて満たした場合、DataSpider Studio for Web でスクリプトに何らかの設定を変更して保存すると、入力元のスキーマからマッピングされているリンクが消えた状態で保存されることがあります。

1. Studio for Web で作成した繰り返し（データ件数）を、Studio for Desktop のデザイナーで編集している。
2. 1.の繰り返し（データ件数）を入力元に指定した Mapper を Studio for Web のデザイナーで展開している。
3. 1.の繰り返し（データ件数）と同じスクリプトに複数の変数代入コンポーネントを配置している。

※ 変数代入コンポーネントの数が多くなるほど、事象の発生頻度が多くなります。

5. 回避策

a. REST アダプタのコンポーネントで自動生成した後で Mapper で変更したスキーマが、自動生成した状態に戻る。

REST アダプタのコンポーネントを入力元にしたスキーマを設定する場合は、以下のいずれかの方法で設定してください。

- ・手動でスキーマを設定する

- ・[JSON ファイルを指定して出力スキーマを設定]、[フォーム]、[マルチパートフォーム]を使用する場合、Mapper ではなくコンポーネント側でスキーマを変更する

b. 繰り返し（データ件数）を入力元に指定した Mapper で、編集前の状態に戻ってマッピングしたリンクが消えることがある。

繰り返し（データ件数）を入力元に指定した Mapper を作成、編集する場合は、DataSpider Studio for Desktop か、DataSpider Studio for Web のどちらか一方のみを使用してください。

6. 今後の対応

以下の DataSpider Servista バージョンのサービスパック向けに本件の事象を修正した単体パッチをリリースします。

- DataSpider Servista 4.4 SP2(*)
リリース予定日：2023 年 10 月頃

(*)DataSpider Servista 4.4 SP2 は 2023 年 8 月リリース予定です。

7. 当ご案内に関する問い合わせ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

【改訂履歴】

2023 年 06 月 26 日	初版作成
------------------	------